

平成 26 年 12 月吉日

柑芦会会員の皆様

柑芦会大阪支部長 見方 益孝
経済講演会実行委員長 井口 滋雄

平成 27 年度(第 26 回) 柑芦経済講演会のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は柑芦会の各種事業にご支援、ご協力を賜り 誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて恒例の大阪支部「柑芦経済講演会」を下記の通り開催いたします。

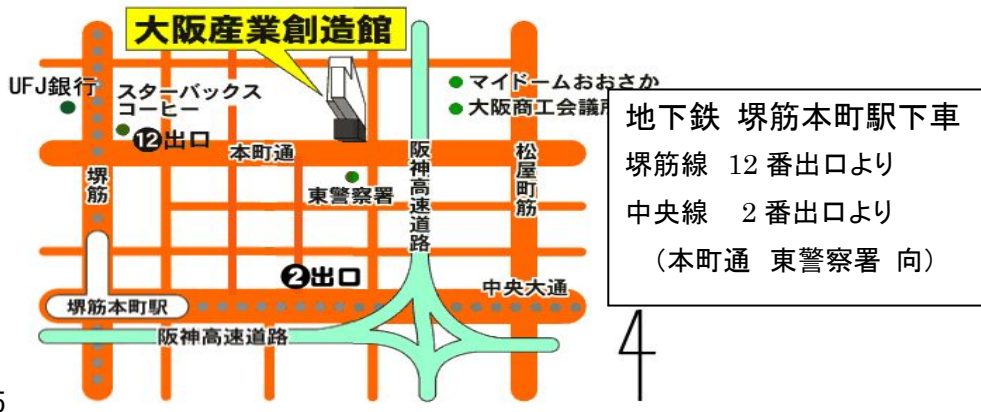
第 26 回目を迎えます今回は円安背景下企業収益も回復しつつあるようですが衆議院選挙後の経済政策がまさに注目されている現況「日本企業の課題」についてお話を伺うことになりました。

ご多忙中とは存じますが 皆様お誘いあわせの上 多数ご出席を頂きますよう ご案内申し上げます。

敬 具

記

1. 開催日時 : 平成 27 年 2 月 14 日(土) 13 時 15 分 ~ 16 時 40 分
会 場 : 大阪産業創造館 4F イベントホール
〒541-0053 大阪市中央区本町



2. 経済講演会メインテーマ 「グローバル経済と日本企業の課題」

世界経済はますますグローバル化、かつそのスピードは凄まじく、又アベノミクスにより世界経済、なかならず日本経済はどうなっていくのでしょうか？ どうすべきなのでしょうか？

今日本はまさに大切な時期にさしかかっております。そこで今回の講演会は関西経済連合会経済調査部長の長谷川裕子様「世界経済の動向からみた日本企業の課題」そして和歌山大学経済学部長吉村典久教授には「企業統治のあり方」についての演題でご登壇をお願いいたしました。

経済全般において開いた世界との距離を取り戻し世界をリードするためには今なにをすべきか？講師の方との意見交換をまじえヒントを得ていただければ幸いです。

3. プログラム

◆ 12時30分 : 受付開始

13時15分 : 開会あいさつ、講師紹介 大阪支部長 見方 益孝

◆ 13時30分 ~ 14時30分 第1講座

講師 長谷川 裕子氏 関西経済連合会 経済調査部長

「世界経済の動向から見た日本企業の課題」

米、欧、中国など国際情勢の現況をふまえ国内(関西)企業のトップはどう対応するか？

◆ 14時30分 ~ 14時50分 : 休憩, コーヒーブレイク

◆ 14時50分 ~ 15時50分 第2講座

講師 吉村 典久氏 和歌山大学経済学部長・教授 博士(経営学)

「企業統治のあり方をめぐる日本、そして欧米企業の課題」

20世紀を代表する産業分野である自動車産業。そして、21世紀を代表するであろうIT産業。いわゆる「ビッグ3」と呼ばれたGM、クライスラー、フォード。これらのうち唯一実質的な倒産には至らなかったのはフォードのみでした。また、IT産業の代表格と言えるのはGoogleでしょう。

20世紀、そして21世紀を代表するであろう両社に共通するのは創業者(家)が大株主として企業経営に関与し続けていますが、所有が分散しており、(創業家とは縁もゆかりもない)専門経営者が企業経営を司っている。これが現代の大企業の標準的、常識的な姿であるとされます。しかし世界の優良企業を見回すと、そうした姿だけではないことを知ることが出来ます。

同族のみならず、従業員や財団が企業経営を司る者(経営者)の任免・監視に極めて重要な役割を果たしている事例は少なくありません。結果、それらが企業の競争力に一定の影響を及ぼしている。商品やサービスのレベルでの違いだけでなくこうした側面においても各国の企業には大いなる違いが存在します。企業統治の問題の中心にあるのは経営者の任免・監視の問題であると考え、グローバルな視点から様々な統治の姿を見ていきたいと思えます。

— 小休憩 —

◆ 16時00分 ~ 16時30分 : 質疑応答

◆ 16時30分 ~ 諸連絡、閉会挨拶 : 委員長 井口滋雄 16時40分 (閉会)

4. 参加費 : 3,000円 (当日会場にてお支払いください) 学生 : 1,000円

5. 参加申込 : 下記の柑芦会大阪支部 事務局 金子義明まで御願います、

締切 : 平成27年1月30日(金)

柑芦会大阪支部(和歌山大学経済学部同窓会)

〒540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17-207

Tel 06-6941-4986 fax 06-6947-7925

E-mail osaka@kourokai.com

以上